

岡崎市子ども会球技大会申し合わせ事項 (フットベースボールの部)

(平成 30 年度)

1. チーム編成について

- (1) 選手は小学生女子とし、当年度当初の予選出場チームの所属を変更することはない。
- (2) 編成は選手 15 名以内、監督 1 名、コーチ 2 名以内とし、総計 18 名以内とする。
- (3) コーチは中学生以上、監督は 20 歳以上の育成者・指導者でなければならない。
- (4) チーム編成に不正があったと認められた場合は、そのチームの出場を停止する。
また、不正が判明し、そのチームが優勝もしくは準優勝していた場合は、その入賞を取り消し、次の順位のチームを繰り上げ入賞とする。

2. 出場チームについて

- (1) 各ブロック1チームとし、大会前にメンバー表を本会に提出すること。
- (2) 原則として抽選会後の選手の変更は認めない。
- (3) 大会に出場するチームは、その所属するブロックで優勝もしくは協議のうえ、推薦されたチームとする。

3. 試合について

- (1) 試合回数は 7 回とし、50 分を超えて新しいイニングに入らない。
- (2) 4 回以降 10 点以上の得点差が付いた場合はコールドゲームとする。
- (3) 7 回を終了後、同点の場合は次による。
 - ・50 分を超えていない場合は、延長戦を行う。ただし 50 分を超過したイニングが終了した時点で同点の場合はタイブレーカーを行う。
 - ・50 分を越えている場合は、ただちにタイブレーカーにより勝負を決定する。
(岡崎市子ども会でのタイブレーカーとは、無死走者満塁を設定して試合を継続する方法である。)

4. ルールについて

- (1) 塁間は、15.0m、投本間は、7.0mとする。
- (2) リ・エントリー(再出場)制度及び、ダブルベース(補助ベース)は採用する。ただし、指名打者(DH)制度は採用しない。
- (3) 申し合わせ事項以外のその他のルールについては、フットベースボールオフィシャルルールブックを準用する。

5. 運営について

- (1) ベンチはトーナメント表の若番を一塁側とする。
- (2) ベンチにはメンバー表に登録されていない者は入ってはならない。ただし、世話係 2 名は後方に控えることができる。(ベンチに入ってはならない)

(3) 試合開始予定時刻 10 分前までに集合していないチームは、棄権とみなし相手チームの不戦勝とすることがある。

(4) 打順表(オーダー表)は試合開始前に当該試合の主審に 5 枚提出する。

(5) 監督は選手交代・打合わせ・抗議等必要な時以外はベンチを離れてはいけない。

(6) コーチヤーズボックスには選手以外の者は入れない。

(7) 審判員に対するヤジは嚴重に取り締まり、審判員に対するヤジがあった場合は、それを行ったチームの負けとすることがある。

6. 服装および道具について

(1) 服装はチーム揃いで、危険な服装とならないよう、適正サイズの着用や余った部分の固定などの対策を行うこと。監督・コーチも運動のできる服装とする。ただし、半ズボン(これに類する物を含む)の場合は、ヒザ下(ふくらはぎが隠れる程度)までのストッキングを着用するものとする。
事情によりチーム揃いとならない場合は、大会運営者、チーム関係者、審判と協議し出場可否を決定する。

(2) 靴は、金属の爪の付いたスパイクは禁止する。

(3) 帽子(サンバイザーを含む)は、揃いのものとし、あごひも付きのものが望ましい。

(4) 背中の見やすい位置に 15 cm 四方程度の背番号を危険のないように固定する。

(5) ボールはフットベースボール専用球(**FB-101**)を使用する。

(6) 危険防止のため、試合中の選手は腕時計・ブレスレット・ネックレス・イヤリング・ヘアピン等その他、危険と思われるものを着用してはいけない。

7. 審判員について

(1) 主審・塁審とも岡崎フットベースボール委員会に依頼する。

8. 応援について

(1) 子ども会にふさわしい応援とし、鳴り物は使用しない。

(2) 世話係および関係する応援者は、プレー中の選手に対する、罵声、怒号やヤジは禁止とする。また、物を投げてはいけない。

(3) 競技場(フェンス内)への立入は禁止する。

9. その他

(1) 本大会の運営・進行は子ども会の良識を持って対処する。

(2) ベンチ及び、監督・コーチ用イスは大会運営本部で用意する。

(3) この申し合わせ事項は、学区およびブロック大会にも準用する。
ただしグランドルールを設定する場合は、大会役員・世話役・チームの監督・コーチおよび審判と協議のうえ、採用することができる。